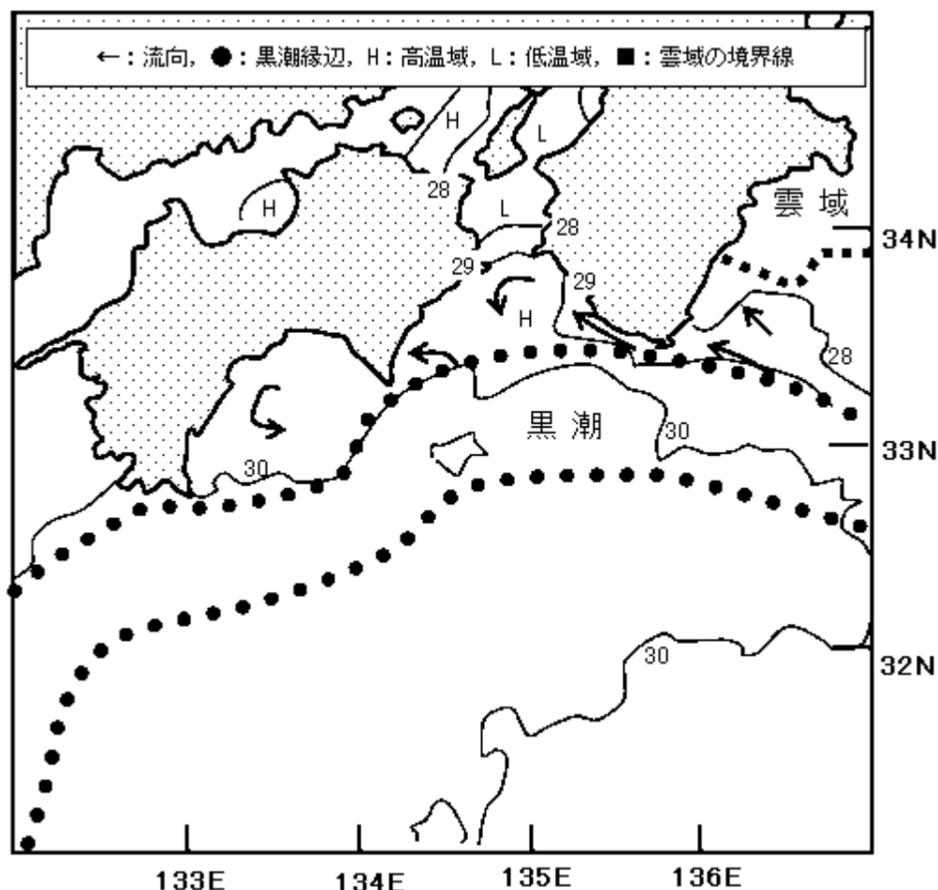


1. 海況の経過



上に和歌山県の人工衛星画像海況速報(H19.9.1~2)を示した。

黒潮は室戸岬沖、潮岬沖とも接岸している。黒潮本流の表面水温は30℃台である。

表面水温は播磨灘が27~28℃台で、紀伊水道内部が27~29℃台で、外域は28~29℃台である。

潮岬沖の黒潮が接岸しているため、潮岬沖からの29℃台の黒潮系水が、紀伊水道外域へ流入している。また、紀伊水道沖合からの29℃台の黒潮系水が海部沿岸に到達している。

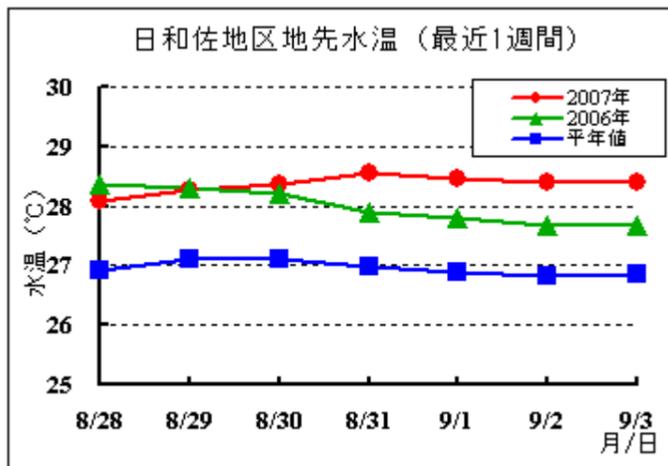
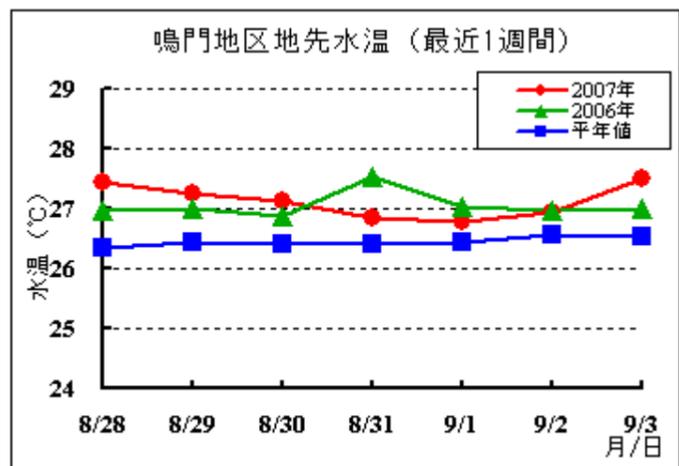
漁業調査船「とくしま」が8月27日に行った海部沖合海区の海洋観測結果では、水温は0m~20m層では「高め」の29.4℃~27.8℃、30m~100m層では「やや高め」の26.5℃~19.3℃であった。

海部沖合海区観測結果 (観測日 2007/08/27)

水温	水深						塩分	水深					
	表層	10m	20m	30m	50m	100m		表層	10m	20m	30m	50m	100m
今年値	29.4	28.9	27.8	26.5	24.1	19.3	今年値	33.8	33.9	34.0	34.1	34.4	34.6
平年偏差	1.8	1.8	1.5	1.2	1.3	1.0	平年偏差	0.4	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1
前年偏差	0.8	0.3	-0.5	-1.3	-1.6	-0.5	前年偏差	0.5	0.4	0.3	0.2	0.2	0.0

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」~「やや高め」の26.9~27.5℃で、日和佐地区が「やや高め」~「高め」の28.1~28.4℃で、牟岐地区は「平年並み」~「高め」の27.5~29.2℃で推移した。



2. 漁況の経過

小型定置網:海部沿岸で、マメ主体にマアジが 1.6トン(1日1隻あたり78kg)、カワハギが0.3トン(同32kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、小主体にヨコワが0.8トン(同5kg)、タチウオが0.2トン(同21kg)、小小主体にシイラが0.2トン(同112kg)、紀伊水道でタチウオが1.6トン(同37kg)、大主体にサワラが0.2トン(同54kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが9.9トン(同100kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)8月27日～9月2日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	マアジ	21	1,641	78	マメ主体
		カワハギ	9	284	32	
釣り	海部沿岸	ヨコワ	169	786	5	小主体
		タチウオ	11	227	21	
		シイラ	2	224	112	小小主体
	紀伊水道	タチウオ	45	1,648	37	
		サワラ	3	161	54	大主体
パッチ網		シラス	99	9,900	100	

特異事項:8月中下旬の水温の上昇に伴い、日和佐及び由岐沿岸に、タコクラゲの出現がみられる。

週間予報:

室戸岬沖～潮岬沖の黒潮は接岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「高め」の28～29℃、日和佐地先で「やや高め」の28～29℃で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の釣りでスルメイカが12.2トン(1日1隻あたり49kg)、タチウオが3.5トン(同14kg)、イサキが1.5トン(同6kg)、パッチ網でシラスが1.6トン(同49kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが29.5トン、サバ類が22.5トン、マイワシが6.8トン、ウルメイワシが9.9トン、カタクチイワシが2.1トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上